

記入例

土木工事をする区域が埋蔵文化財包蔵地に入っている場合

様式 1

平成 年 月 日

坂東市教育委員会教育長 様

法人の場合は、会社名
代表者名、代表者印
個人の場合も押印を願います。

所在地
会社名
代表者（申請者名）
TEL

印

必ず記入してください。

連絡先
氏 名
TEL

埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱について（照会）

今般下記のとおり開発を計画しておりますが、区域内（別添図面）の埋蔵文化財の所在の有無及びその所在が確認された場合の取扱について照会します。

記

鉄骨二階建集合住宅、木造平屋建個人住宅、
宅地造成等、具体的に記入してください。

1 開発目的

2 開発地域

3 開発面積

m²

申請日から60日以上経過後の月日を記

4 工事期間

平成 年 月 日～平成 年 月 日

5 添付図面

位置図（縮尺 1:20,000 程度・住宅地図でも可）

地形図（縮尺 1:2,500 程度）

公図（写）

建物計画図（配置図 1:200 程度・平面図 1:100 程度

基礎伏図・基礎断面図等）

土地利用計画図（造成平面図・断面図・擁壁図面等）

- (1) 2の開発地域は字名，地番を全て記入すること。
- (2) 申請者と土地所有者が異なる場合は土地所有者の承諾書を添付すること。
- (3) 表紙と添付図面一式で2部提出してください。

記入例

様式2

平成 年 月 日

坂東市教育委員会教育長 様

(土地所有者) 住 所
会 社 名
氏 名

印

承 諾 書

私の所有する下記の土地において、貴委員会が埋蔵文化財包蔵地の試掘調査を実施することを承諾いたします。

記

1 試掘調査予定地

(1) 所在地 坂東市 字 番地

(2) 遺跡名 遺跡(遺跡番号)

教育委員会で記入します。

(3) 面積 m²

1筆ごとの面積を記入してください。

今回行われる試掘調査の結果により、記録保存のための発掘調査を行う必要性が生じた場合には、開発事業者において発掘調査を実施することについても承諾いたします。

注 土地所有者が法人の場合、法人名・代表者名を記入し、代表者印を押してください

(1)の所在地は、字名、地番を全て記入してください。

記入例

承諾書一覧表（地権者が多数になる場合）

坂東市教育委員会教育長 様

承 諾 書

遺跡名 遺跡（遺跡番号 ）

教育委員会で記入します。

私の所有する下記の土地において、貴委員会が埋蔵文化財の試掘調査を実施することを承諾いたします。

また、今回の試掘調査の結果により、記録保存のための発掘調査を行う必要性が生じた場合には、開発事業者において発掘調査を実施することについても承諾いたします。

所在地 坂東市

字 名	地 番	面 積（㎡）	所 有 者		印
			住 所	氏 名	
					印
					印

※ 土地所有者が法人の場合、法人名・代表者名を記入し、代表者印を押印してください。

記入例（個人、法人等はこちら）

包蔵地の場合、同時に届出ること。（表紙を含めて2部提出）

様式第2号

提出する年月日を必ず記入して下さい。

第 年 月 日

茨城県教育委員会教育長 殿

法人の場合は会社名、代表者名を記入。捺印は代表者印を押印して下さい。

個人は個人印を押印して下さい。

住所
氏名等

印

埋蔵文化財発掘の〔届出〕・通知〕について

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のための発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和25年法律第214号。以下「法」という。）〔第93条第1項，第94条第1項〕及び第184条第1項並びに文化財保護法施行令（昭和50年政令第267号）第5条〔第1項第5号・第2項〕の規定により、下記の事項について、関係書類を添えて、別記のとおり〔届出〕・通知〕します。

記

- 1 土木工事をしようとする土地の所在及び地番
- 2 土木工事をしようとする土地の面積
- 3 土木工事をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所
- 4 土木工事をしようとする土地に係る遺跡の種類，名称，員数，現状及び時代
- 5 当該土木工事の目的，計画及び方法の概要
- 6 当該土木工事の主体となる者（当該土木工事が請負契約等によりなされるときは，契約の両当事者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合は，その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
- 7 当該土木工事等の施工担当責任者の氏名及び住所
- 8 当該土木工事の着手の予定時期
- 9 当該土木工事の終了の予定時期
- 10 その他参考となるべき事項

【添付書類 2部】

土木工事をしようとする土地の及びその付近の地図並びに当該土木工事等の概要を示す書類及び図面

- 建物等配置図・平面図
- 盛土・切土の範囲及び深さのわかる図面（縦横断面図、基礎伏図、基礎断面図など）

別記

法第93条第1項・法第94条第1項（○で囲むこと）

1 所在地			
2 面積	m ²		
3 土地所有者	住所 氏名等		
4 遺跡の種類	集落跡 貝塚 城館跡 社寺等 墳墓 生産遺跡 交通遺跡 包蔵地 その他の遺跡（		
遺跡の名称	（遺跡番号）		
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他（		
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 近現代 その他（		
5 工事の目的	道路 鉄道 空港 河川 港湾 ダム 学校施設 集合住宅 個人住宅 工場 店舗 個人住宅兼工場又は店舗 その他の建物（ 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ゴルフ場 観光施設 ガス・水道 電気等 農業基盤整備事業（農道等を含む） その他の農業関連事業 土砂採取 その他の開発（		
工事の概要			
6 工事主体者	住所 氏名等		
7 施工責任者	住所 氏名等		
8 着手予定時期	年 月 日	9 終了予定時期	年 月 日
10 参考事項			

開発地域の地番をすべて
記入下さい。

地番が多い場合は別紙可。

複数の所有者がいる
場合は別紙可。

4の欄は、遺跡の現状
以外は教育委員会で
記入します。

法の規定により、届出日から
60日以上経過後の日付となります。

指導事項	現状保存 その他（	発掘調査	工事立会	慎重工事
------	--------------	------	------	------

〔注意事項〕 太線内は届出・通知者が記入。

指導事項欄は県教育委員会で記入。

遺跡の種類・現状・時代及び工事の目的欄は該当項目を○で囲み、該当項目がない場合は（ ）に記入。